

登録コード	BSD91579	開講年度	2026			
授業題目	生体医工学特別実験Ⅰ(22BS以降)				担当教員	照月 大悟
英文授業名	Advanced Experiments in Biomedical EngineeringⅠ				副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ					
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	修士論文の研究テーマに関する実験について、自ら研究計画を策定し実行できるようになる。
(2)授業の概要	担当教員の専門分野（バイオハイブリッドロボット）に関して基本的な実験手法の解説を行い、実験実習を通じて実際の手法を修得する。					
(3)授業計画	本実験は、各学生の修士論文のテーマに合わせて個別に実施するため、その内容および日程は担当教員と相談の上決定する。					
(4)成績評価の方法	実験実習への取り組み態度、レポートやプレゼンテーションの内容を総合的に判断して評価する。					
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。					
(6)事前事後学習の内容	実験計画にあたっては、自ら広く参考文献を調査してその内容を理解すること。また、ディスカッションにおいて、適宜文献を紹介するので、各自読んで理解すること。					
(7)履修上の注意	修士課程の1年目に「生体医工学特別実験Ⅱ」とともに通年で受講すること。					
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと。					
(9)その他						
【教科書】	必要に応じて適宜指定する。					
【参考書】	必要に応じて適宜指定する。					